



心がいっぱい  
朝日町ボランティア  
マスコット  
ハートフルちゃん

ふれあいネットワーク

# ハートフル通信

誰もが笑顔で 元気に暮らせる まちづくり(町社協の基本理念)

平成29年8月1日

第15号

編集・発行  
朝日町社会福祉協議会  
富山県下新川郡朝日町泊418  
tel.0765-83-0576  
fax.0765-83-1589  
http://asahiwel.com



新潟県糸魚川市

災害が発生すると、復旧や復興活動を手伝いたい！という想いをもった、災害救援ボランティアが被災地に集まります。災害救援ボランティアは、被災者の気持ちに寄り添い、それぞれ多様な困りごとや助けてほしいこと(ニーズ)に応じる活動をします。

時には公的な支援よりも先に、被災者のニーズにこたえられる災害救援ボランティアですが、災害発生後は時間が経過するにつれて、被災者のニーズがさらに増えたり、変化したりします。そのため被災地には災害ボランティアセンターが設置され、ボランティアの力をニーズに適合させたり、ボランティア活動が円滑にできる働きをします。

## 集う、災害救援ボランティアの力 災害ボランティアセンターの設置

皆さんは災害が発生した時にどう行動するか決めていますか？災害に対する備えをしていますか？

「朝日町は地震が少ないから大丈夫！」と思っている方や、「災害のニュースを観ると、いろいろ気にはなるけど、普段の生活ではあまり考えてはいない」という方は多いと思います。

先月、九州地方を中心とした記録的な大雨により、河川の氾濫・浸水・土砂崩れ等の甚大な被害がありました。また昨年末には隣町の糸魚川市で、大規模火災がありました。これらは皆さんの記憶にも新しいと思います。そして「朝日町でも起こりうる災害だ」と考えた方も多いのではないのでしょうか？

今回のハートフル通信では、災害ボランティアセンターと災害時に活躍されるボランティア、赤十字奉仕団をご紹介したいと思います。

## もしもの時はどうなるの？

思い出の品探しボランティアが行われました



糸魚川火災の時に設置された、災害ボランティアセンターの様子



ボランティア活動用の資材 →



全国から届いた温かい支援物資

## 朝日町での災害に備えて！

朝日町でも災害が発生した時に備えて、防災訓練が行われたり、災害ボランティアセンター立ち上げ・運営訓練が行われています。また自主防災組織を立ち上げている地域もあります。地域のボランティア推進員であるボランティアサポーターや、身近な相談相手の民生委員児童委員も、防災に関する研修を深めています。

もしもの時に共に助け合う・支え合う地域づくりに向けて、多くの方たちがボランティア(自発的・任意的)な精神で活動されています。

裏面でもう少しご紹介したいと思います。



過去の訓練の様子

## 募集

朝日町防災訓練の際に、災害ボランティアセンター立ち上げ・運営訓練を実施します。一緒に訓練を行うボランティアを募集しています。

**研修会** 日時：平成29年8月22日(火)  
午後7時～9時  
場所：五叉路クロスファイブ

**訓練** 日時：平成29年8月26日(土)  
午前9時30分～11時30分  
場所：サンリーナ 第2体育館

お待ち  
しています



# 朝日町赤十字奉仕団



朝日町赤十字奉仕団は日本赤十字社富山県支部朝日町分区に所属しているボランティアグループで、総勢177名の方が参加されています。富山県は全市町村で地域赤十字奉仕団が組織されており、それぞれの地域に根差した活動が展開されています。朝日町赤十字奉仕団の災害時に備えての取り組みや、日々のボランティア活動についてご紹介したいと思います。

## ①災害時における非常炊き出し訓練

災害時にあたたかい食事が提供できるよう、平成29年6月14日、五叉路クロスファイトにおいて災害を想定した炊き出し訓練が行われました。当日は笹原靖直町長も激励にかけつけてくださり、参加された奉仕団の皆さんも熱心に取り組み、大きな炊き出し用の鍋を使い、たくさんのおいしいカレーを作ってくださいました。

また平成27年には災害時炊き出しレシピとして、「貝だくさんのだご汁」を考案されています。災害時に利用しやすいあさりの水煮缶を使用する他、スーパーで調達できる食材を多く使った栄養価の高い食品です。作り方に関しては朝日町社会福祉協議会ホームページ、ハートフル通信に記載しますので一度ご覧になってみてください。



## ②救命救急講習の受講

炊き出し訓練の後、朝日町消防署の隊員を講師にAEDの使用法や緊急時の人工呼吸の方法を学ばれました。心臓マッサージは1分間に100回のペースで続けて30回は行うため、とても体力を要します。参加された奉仕団の皆さんは懸命に取り組まれていました。



## ③地域見守り配食サービス

在宅福祉サービスの一環として、朝日町の75歳以上のひとり暮らし高齢者、高齢者世帯を対象にチラシ寿司の配食も行っています。多くの方に喜んでいただくとともに、見守り交流を通じての安否確認や地域での孤立防止となっています。

※その他、毎週の有磯苑でのボランティア、義援金・たすけあい募金・献血の呼びかけ運動など、赤十字奉仕団の活動は多岐にわたります。



今年に入って朝日町ボランティアセンターに、新たに2つのボランティアグループが登録されました♪この場をかりてご紹介します。

**くさぶえ会** 代表：本田八代枝さん

※活動打合せの時にじゃまして、くさぶえ会の皆さんにインタビューさせていただきました。

**仲間に出会えた幸せ**

〇ボランティア活動のきっかけは？

介護施設で働いている代表が、イベントの企画を依頼された時、昔なじみの仲間に声をかけて、利用者さんの前で唄・踊りを披露したことがきっかけです。以降、くさぶえ会としては平成20年から、様々な福祉施設でボランティア活動をしています。

### 〇ボランティア活動の魅力は？

福祉施設でボランティア活動をしている時、高齢者の皆さんは自分のできる範囲で、唄や踊りを一緒に取り組まれます。また笑顔で「ありがとう」と感謝の気持ちを表してくれます。それが何よりも嬉しく、ボランティアの私たちが元気をもらっています。

またグループメンバーで集まって、次は何をしようと考えたり、一緒に練習したりすることが本当に楽しいです。ボランティアを通じて絆を深めていった仲間…そんな素敵な仲間巡りに出会ったことが一番の幸せです。

### 〇今後の目標は？

少しずつできることを増やしながら、無理はしないように、いつまでも仲間とボランティアを続けていきたいです。



明るく楽しい素敵な皆さんでした☆

おとゆめ **音夢くらぶ** 講師：松浦 典子さん

※泊3区荒川3丁目にある「音楽夢工房」にて、活動されている様子を見学させていただきました。

## 体を使った発声で健康に

中に入ると広く開放的なホールからきれいな歌声が響いてくる…。講師の松浦さんのアドバイスを聞きながら、参加した皆さんが笑顔で、気持ちよく声を出しているところでした。

音夢くらぶは月2回開催されている音楽教室の方々です。お腹からの発声で歌うことで心身ともに健康になり、新たな自分と出会い、仲間とともに楽しい時を過ごしておられます。松浦さんは言います、「最初からうまく歌える方はいません。地声だからとあきらめることもありません。誰でもうまくなりますから」と。

これからボランティア活動を通じて、学生や高齢者の方と一緒に活動していきたいと希望も話されていました。そう遠くない先、素敵な歌声が地域の中で響いていくことでしょう。



充実した音響設備の音楽夢工房♪

**編集後記**

今回のハートフル通信は災害ボランティアを中心に掲載させていただきました。先月の九州北部豪雨で被災された方々にはお見舞い申し上げます。福岡県朝倉市や大分県日田市に災害ボランティアセンターが開設され、ボランティアが全国から集まる報道を見て、改めてボランティアのもつ力とその精神に深く感銘をうけた次第です。この通信で、皆さんとその気持ちが少しでも共有できたら幸いです。(高野)